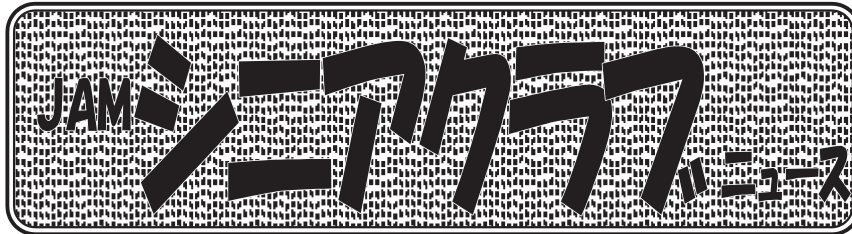


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第207号

発行日 2025年3月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

退職者 連合

政策制度要求・院内集会 2025年通常国会へ向け 政策制度要求の実現を期す

2月13日、日本退職者連合の主催による「政策制度要求2・13院内集会」が



「紛争を終結し平和な世界を、安心できる暮らしを若者へつなぐ」をスローガンに衆議院第一議員会館で開催されました。

本集会には、全国から約200名が参加、JAMシニアからは大山会長をはじめ役員4名が参加、熱気あふれる集会となりました。

冒頭、人見退職者連合会長から主催者を代表して、「物価が上がり生活が低下している状況を改善できるような議論を野党の方々に期待したい。核兵器廃絶に向けて『核兵器禁止条約』を実効あ

るものにシフトしてはならない。来年のNPT再検討会議に向けて1000万署名運動に取り組む。政権交代につなげるため、参議院選挙において与党を過半数割れに追い込む」との挨拶がありました。

続いて、連合北野副事務局長から「連合は2025年度予算、税制改正関連法案、年金制度改正法案等、生活者に直結する重要法案16本に対する考え方をまとめた。今後、連合組織内議員をはじめ立憲、国民両党を通じて国会対応をはかっていく」、立憲民主党野田代表からは「予算案の数字の修正は69年ぶり、国会の風景が大きく変わり、当たり前のことがようやく日本

でも始まった。しっかりと結果を出していきたい」、国民民主党古川代表代行からは「給料をあげて手取りを増やし、年金額を増やして厳しい生活状況・経済状況を改善していきたい」、社会民主党福島党首より「インフラ整備や医療・介護・教育などの公共財や社会共通資本を充実させて命と暮らしを守る」などの連帯の挨拶がありました。いずれも昨年の総選挙の結果を受けて、緊張感ある国会論議が行われているとの報告がありました。

メインの講演会は佐保連合総合政策推進局長による「第217通常国会における予定法案（社会保障関係）について」で、今国会に提

案される「年金制度改正法案」や「医療法改正法案」についての説明と連合としての見解が述べられました。とくに、年金改正については、来年で終了予定の厚生年金のマクロ経済スライドが、基礎年金との関係で延長される見込みであることなど看過できない問題の報告がありました。その後、野田事務局長からの「来週以降、関係省庁・友好政党に対して要求実現に向けた要請行動をすすめていく」との「今後の取組みについて」の提起を確認、岩崎副事務局長が提案した集会アピールを採

択。最後に、人見会長の音頭で政策制度要求実現、参議院選挙勝利に向けて団結ガンバローで閉会しました。

主張



金の問題。企業・団体献金の禁止も、透明性を確保するとして、禁止には後ろ向きです。
2兆円もの税金を投入し

JAMの組織内国会議員が途絶えて9年になります。7月の参議院選挙では、何としても「郡山りょう」を当選させなくてはなりません。これ以上不名誉な記録を作ること、選挙を戦えない組織になってしまふ危険性があります。負けない組織作りが急務ですが、今それを言っても始まりません。今ある力の総結集をどう作り上げていくか、まさに正念場です。

選挙は、社会の不条理と戦う、絶好の機会です。自民党一強の政治が長く続いた結果、裏金問題が明らかに、総選挙では国民の怒りを買って、惨敗しました。野党が求めても再調査は行わないし、実態解明などに触れない姿勢を貫いています。政治不信の原因になった政治

今ある力を総結集し 「郡山りょう」必勝へ

千葉シニアクラブ会長 長岡 功

や、トラブルもあり、さらにはそうした国民の声を受け、国会でも野党が凍結すべきと申し入れる事態となりました。廃止かと思われましたが、現行保険証の新規発行をやめた後は、マイナー保険証をもっていない人に「資格確認書」を交付することです。現行の保険証を残しそのまま使え

ばよいだけの事ではないか。今までどれだけ税金の無駄遣いをしてきたことか。地方自治体、健康保険組合などにも事務や費用の負担が重くのしかかっています。マイナー制度は愚策の最たるものであります。

また、高額医療の負担問題も、がんなど命にかかわる治療を受ける患者にとって、高額療養費制度は命綱だ。にもかかわらず政府は、切実な事情を抱える制度の利用者から話をまったく聞かずに当初の見直し案をまとめた。野党の追及に、当初見直し案の一部を秋までに再検討する方針を表明しました。予算の見直しや修正も、総選挙で少数与党に追い込んだ結果です。年金保険制度の維持・改善、選択的夫婦別姓問題、物価高騰対策等、課題は山積しています。

これらの政策・制度要求実現への近道は、参議院選挙で勝利することです。
「郡山りょう」の必勝のため、シニアクラブの老力を結集して取り組もう。

退職者連合 「フードバンク」の学習会を開催



「もったいない」を「分かち合い」へ「ありがとう」

2月12日、退職者連合の主催により、「フードバンク」の学習会が開催

されました。講師は「フードバンクかながわ」の藤田誠事務局長。

最初に「フードバンクかながわ」の設立目的から10年に渡る活動内容の成果や課題について説明を受けました。

日本の貧困率の高さ、フードバンクや子ども食堂が少なく、もっと発展させていかねばならない状況である。また、家庭や外食堂における食品ロスが非常に多いとのこと

です。
「もったいない」《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》、「分かち合い」《フードバンクを通じて、地域の助け合い、支え合いを実現》、「ありがとう」《生活に困っている人・社会的に

弱い立場にある人々の食のセーフティネットをめざす》をキーワードに今後も継続発展させ、一人でも多くの「ありがとう」へ繋げていきたいとのことでした。

尚、この活動には、神奈川県シニア連合を通じてJAM神奈川シニアクラブも協力をしてきています。JAMシニア全体でフードロス問題やフードバンクの活動について理解を深めることが必要だと感じました。

退職者連合 通常国会に向けて厚労省・政党へ要請行動を展開

日本退職者連合は、2月17日に厚生労働省、立憲民主党、社民党、2月



18日に国民民主党、公明党に対し、『2025年通常国会に向けた制度・政策要求』の要請行動を実施しました。

厚労省に対しては、年金制度、医療制度、介護保険制度の3項目について要請を行い、宮崎統括審議官より「年金改正については閣議決定に向けて最終的な調整を行っている。高額療養費については、当初案を修正した。介護保険の訪問介護の基

各政党についても、年金、医療、介護、選択的夫婦別姓、政治とカネの問題について、退職者連合の考え方を訴え、意見交換を行いました。

「連合アクションデモ」に参加

2月27日、構成組織・単組、地方連合会から約1700名が東京都内に結集し、「みんなであつくる！賃上げがあたりまえの社会」をスローガンに2025春季生活闘争「2・27連合全国一斉アクション中央集会・アクションデモ」を実施しました。



「連合アクションデモ」を実施しました。退職者連合も年金、医療、介護制度の改善をめざし、現退一致の取り組みとして30名が参加、JAMシニアからは大野事務局長が参加しました。

デモ行進に先立ち、日比谷大音楽堂で出発式を開催、芳野連合会長の主催者代表挨拶、野田立憲民主党代表、古川国民民主党代表代行の激励挨拶がありました。

訃報

嶋田一夫さん

行年90歳

元全国金属機械労働組合書記長、元JAMシニアクラブ事務局次長の嶋田一夫さんが、2月26日お亡くなりになりました。

嶋田さんは金属機械書記長、JAM参与を務めたあと、2004年度から2期4年JAMシニアクラブ事務局次長としてシニアクラブの発展に寄与されました。

生前のご厚誼に感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。



ものづくりニッポン! さあ、盛りあげていきましょう!!



郡山りよう応援活動 全国で進捗!

全国で応援カードの取り組みが進捗しています。3月20日現在、家族を含めて約2000人の方が郡山りようの応援者に登録をいただきました。

JAMの郡山りようを国政の場に送り、現場で働く労働者の生活を豊かにする政策、我々高齢者の生活不安を解消するための政策を実現しましょう。

郡山りよう応援活動への更なるご協力をお願いいたします。